

新旧対照表

【関税法基本通達（昭和 47 年 3 月 1 日蔵関第 100 号）】

（注）傍線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p style="text-align: center;">第 6 章 通関</p> <p style="text-align: center;">第 1 節 一般輸出通関</p> <p>（仕入書の提出を要しない場合等の取扱い）</p> <p>68 - 1 - 1 法第 68 条第 1 項（（輸出申告又は輸入申告に際しての仕入書の提出））ただし書の規定により、輸出申告に際して仕入書を提出することができない事由があると認められる場合その他仕入書を提出する必要がある場合の取扱いについては、次による。</p> <p>（1）（省略）</p> <p>（2）令第 60 条第 3 項第 3 号（（仕入書の提出を必要としない場合））に規定する「その他の事情」とは、貨物の価格及び取引形態等、当該輸出申告に係る総合的な事情をいい、「取締上支障がない」とは、法第 67 条に規定する検査の決定に支障がない等、関税関係法令の執行に支障がない場合をいい、具体的には、次に掲げる条件を全て満たす場合とする。</p> <p>イ イラン、イラク及び<u>北朝鮮</u>以外を仕向地とする輸出申告である場合</p> <p>ロ（省略）</p> <p style="text-align: center;">第 2 節 特殊輸出通関</p> <p>（マニフェスト等による輸出申告）</p> <p>67 - 2 - 5 航空貨物混載業者が扱う貨物で、次に掲げる全ての条件に該当する貨物については、後記 67 - 2 - 6 に定めるところにより、輸出申告を行うことができるものとする。</p> <p>（1）～（3）（省略）</p> <p>（4）イラン、イラク又は<u>北朝鮮</u>を仕向地としないもの</p>	<p style="text-align: center;">第 6 章 通関</p> <p style="text-align: center;">第 1 節 一般輸出通関</p> <p>（仕入書の提出を要しない場合等の取扱い）</p> <p>68 - 1 - 1 法第 68 条第 1 項（（輸出申告又は輸入申告に際しての仕入書の提出））ただし書の規定により、輸出申告に際して仕入書を提出することができない事由があると認められる場合その他仕入書を提出する必要がある場合の取扱いについては、次による。</p> <p>（1）（同左）</p> <p>（2）令第 60 条第 3 項第 3 号（（仕入書の提出を必要としない場合））に規定する「その他の事情」とは、貨物の価格及び取引形態等、当該輸出申告に係る総合的な事情をいい、「取締上支障がない」とは、法第 67 条に規定する検査の決定に支障がない等、関税関係法令の執行に支障がない場合をいい、具体的には、次に掲げる条件を全て満たす場合とする。</p> <p>イ イラン、イラク、<u>朝鮮（大韓民国政府の支配する地域を除く。）及び</u><u>ピア</u>以外を仕向地とする輸出申告である場合</p> <p>ロ（同左）</p> <p style="text-align: center;">第 2 節 特殊輸出通関</p> <p>（マニフェスト等による輸出申告）</p> <p>67 - 2 - 5 航空貨物混載業者が扱う貨物で、次に掲げる全ての条件に該当する貨物については、後記 67 - 2 - 6 に定めるところにより、輸出申告を行うことができるものとする。</p> <p>（1）～（3）（同左）</p> <p>（4）イラン、イラク、<u>朝鮮（大韓民国政府の支配する地域を除く。）又は</u><u>ピア</u>を仕向地としないもの</p>